

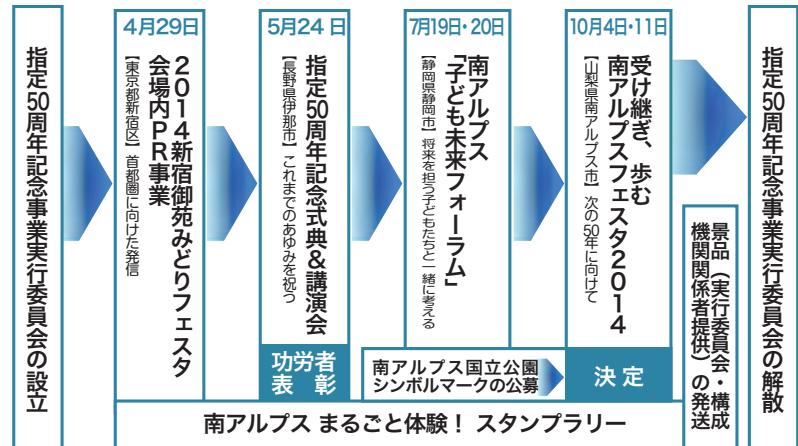
## 南アルプス国立公園指定 50 周年記念事業について

南アルプス国立公園は、3,000 m級の高峰十座以上を有する甲斐駒・鳳凰山系、白峰山系、赤石山系の3つの大きな山系により構成された我が国を代表する山岳公園で、1864(昭和 39)年 6 月 1 日に知床とともに全国で 23 番目の国立公園として指定されました。

そして今般、平成 26 年 6 月 1 日に、その指定から 50 年を迎えました。

この記念すべき年を迎えるにあたり、南アルプスの優れた自然風景地の保護と適正な利用に向けた一層の理解を図るため、その素晴らしさを広く情報発信するとともに、これからの南アルプスについて考える機会とすることを目的に、環境省と南アルプスを擁する 3 県 10 市町村が中心になって連携・協力し、平成 25 年 12 月 22 日の南アルプス国立公園指定 50 周年記念事業実行委員会の設立より記念事業を実施してきました。

### 南アルプス国立公園指定50周年記念事業の流れ



## 南アルプス国立公園について

- 指 定：1964年(昭和39年)6月1日
- 面 積：35,752ha (山梨県：18,286ha 長野県：14,079ha 静岡県：3,387ha)
- 利用者数：65万3千人(平成24年度 静岡県：3万人 山梨県：51万2千人 長野県：11万1千人)
- 概 要：南アルプス国立公園は山梨県、長野県、静岡県の3県にまたがり、東西約15km、南北約50kmに及び、日本第二の高峰北岳(3,193m)をはじめ3,000m級の高峰を有する南北に長い国立公園です。国立公園で唯一「アルプス」の名を冠し、国内屈指の山岳公園である南アルプス国立公園は、日本で氷河が存在した最も南の場所で、キタダケソウやチョウノスケソウなど、氷河とともに南下してきた植物の生育地の南限であるとともに、ライチョウなどの貴重な野生生物の生息地にもなっています。

